

令和5年度
社会福祉法人 のぞみ会
事業計画書

社会福祉法人 のぞみ会

介護老人福祉施設 のぞみの杜
居宅介護支援事業所 のぞみの杜
短期入所生活介護事業所 のぞみの杜
個室ユニット型短期入所生活介護事業所 のぞみの杜
通所介護事業所 のぞみの杜ふれ愛
元気の湧 のぞみの杜
小規模型通所介護事業所 のぞみの杜
グループホーム のぞみの杜
生活支援ハウス のぞみの杜
介護予防事業
もりのほいくえん のぞみの杜

西彼杵郡長与町吉無田郷 1578

Tel.095-887-3333 Fax095-887-3599

URL:<http://www.nozominomori.or.jp>

E-mail:nozomi@nozominomori.or.jp

～経営理念～

社会福祉法人のぞみ会は、地域における高齢者福祉サービスの拠点として、人権尊重とノーマライゼーションの理念に基づき、高齢者が自立し、安心して地域社会の中で心豊かに生活できるよう支援し、また、このことを通じ、地域社会に貢献する。

基本方針

1. 人間的尊厳・人格尊重を最優先としたサービスの提供に努めます
2. 個々のニーズに対応した良質・高度なサービスの提供に努めます
3. 地域住民に信頼され、愛される「安心の拠り所」を目指します
4. 志を高く、常に向上心を持ち、感性豊かなサービスの提供に努めます

社会福祉法人のぞみ会の果たすべき使命と役割

- ◇ 身近な社会資源として地域のニーズに応える
(レスキュー事業を始め、非常時にも備え得る社会資源としての安心の拠り所)
(福祉避難所、見守り事業、各種イベント等を通して地域づくりへの参画)
- ◇ 多様な働き方のできる地域の安定的な雇用の場としての責任
(安定的な経営で、働きやすい職場づくりを実践、多様化する雇用への貢献)
(介護人材の育成強化、ICT や介護ロボット等の活用、生産性向上)
- ◇ 介護のプロフェッショナル集団として地域に果たす役割
(現場から介護・福祉の魅力を発信する役割を担い、高齢社会に貢献する)
(地域資源としての役割、施設に所属する専門職による地域貢献を図る)
- ◇ 実地研修施設としての役割と使命
(尊厳の保障、自立支援を念頭に生産性向上を図り、介護の価値を高める)
(エビデンスに基づいたケアの実践、科学的な手法に基づく分析・蓄積・検証)
- ◇ 地域包括ケアにおける施設の果たす役割
(地域共生社会づくりに向けた公益的取り組み強化、まちづくりへの貢献)
(地域の介護者を支える仕組みづくり、社会福祉法人としての役割を果たす)

令和5年に向けて

元号が令和に入り、この三年間、特に高齢者施設においては、コロナ禍の感染リスクや重度化リスクに加え職員においては行動自粛やストレス、運営面においては難しい舵取りを迫られた日々であった。令和5年を迎え、私たちは新しい様式をとりいれながら、少しずつ変わりゆく中で、前に進んで歩まなければならない。

令和4年度のレビューの際、すべての事業所とは言わないが毎年感じるみんなの「意気=息」に例年とは異なり、元気の無さを感じるがあった。また、目標に対しての結果をどうしても現代の福祉を取り巻く環境や現状の中に求めてしまう。コロナ禍だから・・・、人材難だから・・・。しかし、理由をここに求めている現状は何も変わらない。多岐に渡る改革が更に求められ、もっと自由な発想の転換が必要ではないだろうか。

今だからこそ私達は福祉への『情熱』を再燃焼させ、仲間と共に「意気=息」を高め、自分の仕事、自分自身の成長に誇りや夢を持ち続けよう。もっと学び合おう。もっと自分を磨こう。そこには、昨年掲げた「自己肯定感」が必要で、その「自己肯定感」を得るには、周辺、関わる人や影響が及ぶ人への意図する関わり方が大事である。やっていること、目的、こうなる為に、こうならない為に、を発信し福祉・介護への理解者を増やすことも自己肯定へとつながる第一歩となる。

<令和5年度 組織運営>

最高議決会議である理事会をはじめとする各種会議の開催により、組織運営をより円滑に行う。

(各種会議等の開催)

	会議名	開催日	主たる参加職種	備考
1	理事会	6月・9月・12月・3月・随時	理事・監事	
2	評議員会	6月・随時	評議員	
3	監事監査会	6月	監事	
4	管理会議	毎月10日	管理者・各事業所責任者	
5	事業所会議	毎月1回(事業所指定日)	各事業所職員	
6	ユニット会議	毎月1回(ユニット指定日)	各ユニット職員	
7	ユニットリーダー会議	毎月1回(事業所連携会議開催日)	ユニットリーダー	
8	全体職員会議	3月末日	全職員	

<各種委員会の設置>

社会福祉法人のぞみ会活動の推進並びに組織活性化を目的とした専門委員会の設置

(各種委員会の開催)

	会議名	開催日	主たる参加職種	備考
1	身体拘束廃止・虐待防止委員会	毎月	管理者及び委員	
2	入居判定委員会(特養・GH)	随時	施設長・第三者委員・他	
3	品質向上(QMS)委員会	毎月	管理者・各事業所責任者	
4	労働安全衛生委員会	毎月・随時	施設長・医師・管理者・他	
5	安全管理委員会	毎月・随時	管理者及び委員	
6	BCP対策委員会(災害班・衛生班)	毎月・随時	管理者及び委員	

<各種委員会等>

1 身体拘束廃止・虐待防止委員会

目的「入居者及び利用者の尊厳を保証し、その尊厳に向き合う職員を守る」

目的「虐待をおこさせない組織運営強化」

- ・身体拘束廃止・虐待防止にかかる研修立案
- ・日常における不適切ケアの早期発見
- ・身体拘束廃止・虐待防止によるコンピテンシーの周知と広報活動

2 入居判定委員会

目的「特別養護老人ホーム、グループホームの適切な入居判定を行い、スムーズな入居を図る」

- ・入居決定にかかる判定会議のための事前調査、事務処理
- ・入居判定会議等の開催、議事録作成
- ・入居待機者へのアプローチ及び支援

3 品質向上（QMS Quality management systems）委員会

目的「品質マネジメントの向上的展開により、更なる品質の向上・顧客満足を追求する」

- ・内部監査の実施：2022年7月及び2023年1月 予定
- ・第6回再認証審査：2022年9月 予定
- ・マネジメントレビュー（評価と課題分析）：2022年9月及び2023年2月
- ・ISOの共通理解と品質管理のバージョンアップを図る
- ・QMSの理解を深める取り組み強化（研修、監査員養成等）
- ・アセッサー（キャリア段位制度）にかかる効果的運用と、定着

4 労働安全衛生委員会

目的「職場の安全と衛生、職員の健康に配慮し、快適な職場環境を推進する」

- ・安全衛生管理体制の強化
- ・労働者の健康管理、衛生管理、健康保持及び増進を図る

5 安全管理委員会

目的「予防の観点からの予知予測を徹底し、事故発生件数の減少を図る」

「事故発生にあたっては徹底した原因分析と再発防止策を図り、事故ゼロへと繋げる」

- ・予知予測による事故の回避（事故回避の気づき、感性、視点を磨く各取り組み）
- ・事業所毎の是正件数の減少への取り組み
- ・事故リスクに対する家族や居宅への発信等の取り組み
- ・安全管理にかかる研修の企画・立案
- ・ヒヤリハット、是正予防処置データからのリスクマネジメント強化策
- ・事故原因の分析、再発防止策
- ・各事業所独自のヒヤリ（気づき）の取組の提案と実現
- ・全事業所にかかるリスクへの課題や発信

6 BCP対策委員会【災害班・衛生班】

目的「災害や感染症発生時における早期事業の再開のための、BCPの運用と訓練の実施」

- ・要配慮者（施設ご利用者等）に対する適切且つ安全な対策のための体制作り
- ・職員に対するBCP運用の推進
- ・地域協定による災害・感染症発生時の救援・避難体制の構築
- ・災害・感染症の発生を踏まえた研修の実施と訓練（シュミレーション）

<各部会の設置>

社会福祉法人のぞみ会活動の推進並びに組織活性化を目的とした専門部会の設置

（各種部会の開催）

	会議名	開催日	主たる参加職種	備考
1	安全管理部会	毎月10日	管理者・各事業所責任者	
2	衛生管理部会	毎月10日	管理者・各事業所責任者	
3	苦情対策部会	毎月10日	管理者・各事業所責任者	
4	研修部会	毎月10日	管理者・各事業所責任者	

1 安全管理部会

目的「予防の観点からの予知予測を徹底し、事故発生件数の減少を図る事の周知」

事故発生にあたっては徹底した原因分析（なぜなぜ分析）と再発防止策の検討を行う
このことを従業員に適切に行き渡る体制を整備する

2 衛生管理部会

目的「衛生管理を徹底し、感染症や食中毒の予防やまん延防止策を図る」

「衛生にかかる意識を高め、感染を防止する」

「衛生管理研修」の企画、実施

3 苦情対策部会

目的「苦情に真摯に向き合い、より良いサービスの提供を図る」

「顧客満足を顧客感動に変え得るサービスを追求し、苦情ゼロへと繋げる」

「苦情になり得るヒヤリハットから予知予測される苦情のマネジメント強化を図る」

4 研修部会

目的「専門性として更なるスキルアップとなる研修を企画し、

高品質のサービスへと繋げる」

- ・事業所内研修の活性と充実（段階別研修など習熟度にあわせた取り組み）
- ・外部講師による研修会開催（企画・立案から実施まで）
- ・外部研修参加のための情報発信、推進強化
- ・全体研修の企画・立案から実施
- ・のぞみの杜人間力アップ企画・推進
- ・研修にかかるニーズ調査、職員の学びたいに応える研修会の開催

<イベント・プロジェクト>

目 的

コロナ禍において感染対策を講じながらも、職員自ら企画、立案するなど積極的に多方面との繋がりを大切にし、のぞみの杜らしいイベントを催し、介護と福祉の魅力を発信する。このことから「のぞみの杜のチーム力強化」を目指す。

活動内容

- ・ のぞみの杜夏祭り
- ・ 地域交流
- ・ スタッフ交流 等

<ブランディング・プロジェクト>

目 的

科学的介護の開始に伴い、ICT 導入やデータ分析など、介護のイメージは昔と大きく変わってきている。

のぞみの杜らしさを持ちながらも、先駆的なイメージ戦略・リクルート戦略を行う。

活動内容

- ・ 広報誌 (nozomi news paper) 発行
- ・ リクルートを目的としたブランディング
- ・ SNS における発信等
- ・ ホームページ企画・管理

<人事管理制度>

社会福祉法人のぞみ会人事・組織活性化を目的とした人事考課制度の実施

- 1 人事考課日程（自己評価）
 - 4月（前年度後期評価：10月～3月）
 - 10月（本年度前期評価：4月～9月）

- 2 フィードバック面接（一次評価及び二次評価）
 - 5月（前年度後期評価：10月～3月）
 - 11月（本年度前期評価：4月～9月）

- 3 評定（S・A・B・C・D 評価）
 - 6月賞与による評価（前年度後期評価：10月～3月）
 - 12月賞与による評価（本年度前期評価：4月～9月）

<中・長期計画>

地域包括ケアシステムの構築に向けたシステムづくり、総合事業移行への取り組み強化

1. 創立時の理念である地域に根ざした社会福祉法人、高齢者福祉サービスの拠点となる
2. 人口減少社会における「人づくり・地域づくり」に貢献する
3. 地域の安心の「拠り所」を構築する
4. 働き方改革による働きやすさの追求

介護老人福祉施設 のぞみの杜

<事業所における品質目標>

I 入居者中心に家族・職員（仲間）それぞれの「繋がり」を大切に みんなの満足に繋げよう！

- ・科学的介護の成果を上げる
（自立支援介護）
- ・仲間と共に学び合い互いに成長を認め合う
（人材育成・他職種協働）
- ・リスクに対するベクトル（考え方・取り組み）の統一
（安全管理）

個室ユニット型短期入所生活介護事業所 のぞみの杜

<事業所における品質目標>

I. 周囲から選ばれる事業所を目指します

- ① 自立支援をすすめる／科学的介護対象者の選定と実践
- ② リスク管理の徹底／ヒヤリ検討の継続・事故減少
- ③ 担当制の充実／ラインの活用で日々の様子を伝える・ファミリーレター
細かな状態報告

居宅介護支援事業所 のぞみの杜

<事業所における品質目標>

- I. 先を見据えたケアマネジメントの理解を深め、アセスメントの質を高めることで
ご利用者のより良い生活を支援します
 - ・適切なケアマネジメントの手法の理解を深め、アセスメントに取り入れる
 - ・災害アセスメントを理解し、アセスメントに取り入れる
 - ・日々の支援に関わる、グッドポイントを事業所内で発信し、気づきを共有する

- II. のぞみの杜居宅の魅力ある体制を発信し、安心して相談できる事業所を目指します
 - ・地域の相談窓口の役割や居宅の体制を周知。ニーズに合わせてご利用者やご家族、医療機関に発信する
 - ・リモートワーク実施を含め、居宅の働き方を発信することで、人材確保に生かす
 - ・発信方法について、学ぶ機会をもつ

短期入所生活介護事業所 のぞみの杜

<事業所における品質目標>

- I. 自分を磨く事でチームの相乗効果を図り、利用者が満足感を得られる
サービスを提供する
 - ・成長が自信となりチームでの連携にも繋げ目標を達成する
 - ・利用者の満足に繋がるように個々のニーズに応じたサービス提供とリスクマネジメントを行う

グループホーム のぞみの杜

<事業所における品質目標>

「人を生活の主体として捉え、笑顔溢れる毎日と暮らしの構築、残された能力を最大限に発揮できるケアと環境を何より優先していきます」

I.人としての自信と感情を育み、持てる力が発揮できる暮らしの支援

- ① 自立支援の視点を深める
- ② 顧客満足度 90%以上を目指す

II.将来的ビジョンの見える化と目標達成へのサポート

- ① 自己肯定力と相互間の連携を高める
- ② 専門的知識と技術向上

通所介護事業所 のぞみの杜

<事業所における品質目標>

I. 3ユニットの特色を生かして「根拠に基づいた繋がりのあるケア」を実践し、本人を中心とした在宅チーム皆で成果（喜び）を共有する事の出来るデイサービスを目指します
『稼働率85%以上!』

【ユニット目標】

【はなまる】 チームワークを強化し、ご利用者のニーズに沿った根拠あるケアの提供を行い、成果を実感しあえるユニットを目指します

【ひだまり】 一人ひとりの幸せのかたちに寄り添い、幸福感を感じる事が出来る環境を作る

【ほのぼの】 尊厳を守り、「今」を大切にしたケアに繋げる

デイサービスセンター のぞみの杜 スヨさん家

<事業所における品質目標>

- I. 地域に密着し、地域に根差し、地域の方との関わりを大切に住み慣れた町でイキイキと暮らす

地域と共存し「地域密着型」の魅力を最大限に活用。四季折々を堪能しながら活気のある場所となる

また、「喜び」「楽しみ」「嬉しさ」などたくさんの気持ちを共有しながら生活を紡いでいけるスヨさん家となる

元気の湧 のぞみの杜

<事業所における品質目標>

- I. いま一度、福祉への『情熱』を再燃焼

福祉の原点回帰をしながら、イキのある元気の湧のケアを提供すると同時に、地域と共に生きる元気の湧となる

- ① 自立（自律）支援の原点に立ち返る

現状を正しく認識しありのままの自分を前向きに捉えられる様なケアの提供を行う

- ② 認知症における「共生」と「予防」を主軸とし、ノーマライゼーションの理念に基づき、誰もが心豊かに暮らしていけるような地域づくりを行う

生活支援ハウスのぞみの杜

<事業所における品質目標>

I. その人らしく、生き活きと安心できる暮らしの継続を支援する

- ① 入居者様の要望を取り入れながら、企画立案を実施する
 - ・四季折々(2回/年)
 - ・敬老会(9月)
 - ・忘年会(12月)
 - ・入居者様の誕生日(12名)
 - ・スマイルキッチンと連携し、食の満足を図る
- ② 他事業所、外部との交流、連携
- ③ 入居者様、ご家族との関係の構築と専門知識を得て、自己肯定感を高める

スマイル・キッチン

<事業所における品質目標>

I. 心豊かに生活できる、楽しみになる、喜びになる食事を作ります

- ① ご利用者もスタッフも笑顔になる食事で意気を高め、満足向上を目指します
- ② ご利用者のその方らしい生活を多職種協働でサポートし、食べる喜びを増やします(低栄養予防)

もりのほいくえん

<事業所における品質目標>

- I. 少人数保育を活かした家庭的な保育を目指します
 - ① 保育園園児もスタッフも笑顔になる保育を提供する
 - ② 保育園園児にとって最適な保育環境作り
- II. 他事業所との連携や交流を図ります
 - ① のぞみの杜利用者・職員と保育園園児も一緒に楽しめるような行事を考え実行する

総務部

<事業所における品質目標>

- I チーム意識を高め、すべてに質の高い仕事を目指し、一人ひとりが成長する
 - ② 業務の効率化を図るための仕組みを作り実行する
 - ③ チームで取り組む課題に挑戦しつつ、魅力を発信する

【hospitality 7つのS】

- Smile 笑顔（第一印象を大切に）
- Study 自己啓発、知識の習得、学習、努力の継続
- Smart 機敏な立ち居振る舞い、聡明で美しく
- Sincerity 誠実、親切、思いやり
- Speedy 敏速、機転を利かせた配慮
- Specialty 高い専門性、責任感
- Security 安全保障、情報保護、安心

『 のぞみ会 人間力 』

挨拶を基本とし、
常にチャレンジすることを忘れず、
個々人のスキルアップとチームでのシナジー効果を
最大限に発揮するために、
互いに励まし合い、共に認め合い、かかわりとふれあいを
大切にする事業体。

自分自身の成長のために、
そして、すべては、一人ひとりの人間性の向上を掲げて
感謝しあえる組織をめざす。